

団体交渉報告

2018年8月7日(火)天神川3階会議室で行われた団体交渉では、2017年度決算概要について報告がされ、自動車運送事業では経常損益を23億円計上し黒字を確保させ、高速鉄道事業でも経常損益を3年連続(2億円)の黒字と報告がされたが、バスの車両更新費の倍増や、運転士不足などの人材難問題、また、依然残る、高速鉄道事業での多額な累積資金不足などがあるとして、厳しい経営状況であると報告を受けた。
この報告に対して京交から人材不足の解消に向け早急な対応や決算概要が示す良い数字に見合う対価を求めた！

○万人社員に求めた努力が、目標達成に向けて力をつくすという姿勢が、目標達成に向けての具体的な取り組み内容についてどのよう計画しているのか、と質問し、また「全国的に広がるバス運転士不足について魅力ある職業に押し上げる対策を早急に講じるよう」とも、「決算概要が示す良い数字に見合う対価を要求する」とし、当局から、かさむ経費を捻出するために八〇万人の目標達成が必要であり、達成に向け全庁を上げて取り組むと、要求については、内容を精査し、真摯に対応すると回答がされた。

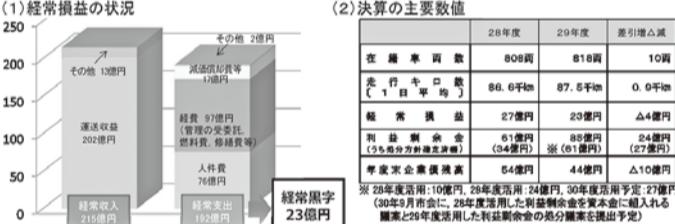


〜〜 団体交渉に臨んだ京交執行委員 〜

自動車運送事業

1 決算概要

- 市バス・地下鉄中期経営方針に基づき、お客様の更なる利便性の向上を図る取組を積極的に推進
・予算に掲げた主要事項である安全運行の推進や、喫緊の課題である市バスの混雑対策、路線・ダイヤの充実等を着実に実施し、お客様の更なる利便性の向上を図る取組を積極的に推進
- 1日当たりのお客数は、前年度比5千人増の36万8千人(地下鉄と合わせて75万5千人)
・路線・ダイヤの充実等に加え、地下鉄・市バスお客様1日80万人の達成に向けた全庁挙げて取組と民間と行政の共同による取組の推進により、前年度決算に比べて、1日当たりのお客数は5千人増、運送収益は3億円の増収
- 経常損益は23億円の黒字を確保、利益剰余金を市バス事業の充実、地下鉄会計への支援に活用
・経常損益は、23億円の黒字を確保し、26年度以降4年連続で「自立した経営」を堅持
・利益剰余金(27年度確定:24億円)は、市バス事業の充実に活用(11億円)するとともに、地下鉄会計の経営健全化を財政面から支援するために出資(12億円)したほか、一般会計へ配当(1億円)
- 今後は、多数の車両更新が必要になるなど、厳しい経営状況
・今後10年間で、200億円を超える更新費用(530両の車両更新 140億円)などを要するほか、全国的なバス運転士・整備士不足による委託先を含めた人材難や経費増が見込まれるなど、厳しい経営状況へ



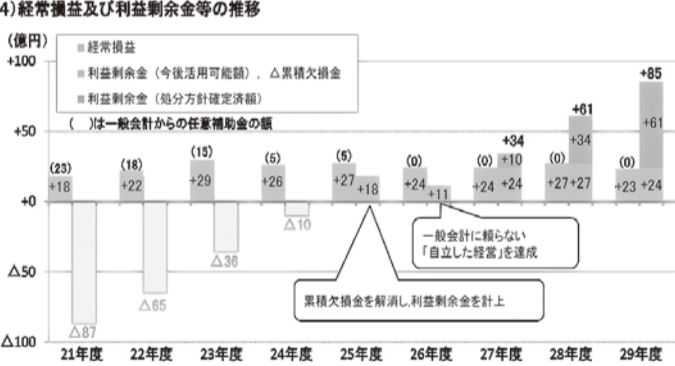
(3) お客数の状況

ア 市バスお客様数内訳 (単位:千人/日、%)

区分	28年度	29年度	増減	増減率
市バス全体	363	368	5	1.4%
うち定期	87	90	3	3.9%
うち定期外	203	206	3	0.9%

イ 地下鉄・市バスお客様数 (単位:千人/日、%)

区分	28年度	29年度	増減	増減率
地下鉄	379	387	8	2.1%
市バス	363	368	5	1.4%
合計	742	755	13	1.8%



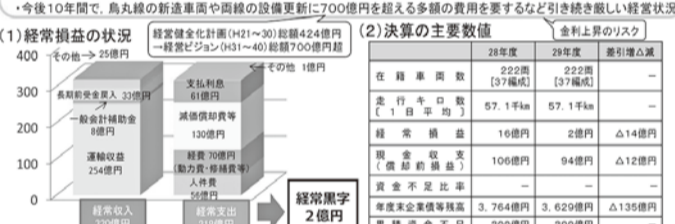
3 財政状況 (前年度決算からの増減)

区分	28年度決算(A)	29年度決算(B)	差引増△減(B-A)
営業収入	209 83	212 66	2 83
営業外収入	199 55	202 45	2 90
営業収入	2 25	2 83	28
営業外収入	1 1	3 2	2 1
営業外収入	212 08	215 19	3 11
営業収入	183 01	189 08	6 06
営業外収入	70 37	71 77	1 40
営業外収入	3 81	3 84	3
営業外収入	83 52	97 44	13 92
営業外収入	15 31	16 81	1 50
営業外収入	2 20	2 54	34
営業外収入	185 21	192 50	7 29
営業外収入	26 87	22 69	△4 18
営業外収入	0	1 17	1 17
営業外収入	26 87	23 86	△3 01
営業外収入	61 26	85 12	23 86
営業外収入	34 39	61 26	26 87
営業外収入	5 80	3 98	△1 82
営業外収入	4 81	3 83	△1 18
営業外収入	53 34	54 19	85
営業外収入	36 08	48 15	12 07
営業外収入	23 59	21 18	△2 41
営業外収入	12 49	13 87	1 38
営業外収入	0	11 90	11 90
営業外収入	0	1 20	1 20
営業外収入	△30 28	△44 17	△13 89
営業外収入	41 72	34 04	△7 68
営業外収入	53 81	43 57	△10 24

高速鉄道事業

1 決算概要

- 経営健全化計画より1年前倒しして経営健全化計画から脱却の見通し
・経営健全化計画に基づき、安全対策やお客様サービスの向上に努めつつ、増収の取組や駅ナカビジネスの積極的展開による増収策、コスト削減等の経営健全化の取組を推進してきたことにより、計画より1年前倒しして健全化計画から脱却の見通し
- 1日当たりのお客数は、38万7千人(市バスと合わせて75万5千人)
・地下鉄・市バスのネットワークを活用し、ひとと公共交通優先のまちづくりに一層取り組むため、「地下鉄・市バスお客様1日80万人」に向けた全庁を挙げて取組と民間と行政の共同による「チーム電車・バスに乗る」の取組の推進により、前年度決算に比べ、8千人増加、運送収益は4億円の増収
- 経常損益は、3年連続の黒字(2億円)となるも多額の企業債等残高や累積資金不足
・経常損益は、一般会計からの補助金8億円を含めてはありますが、3年連続となる黒字(2億円)を計上
・しかし、依然、企業債等残高見込は3,629億円、累積資金不足は309億円にのぼる全国一厳しい経営状況
- 今後も引き続き、厳しい経営状況
・健全化計画脱却後は、国制度に基づく一般会計からの経営健全化対策出資金の繰入れもなくなり累積資金不足は増加
・今後10年間で、烏丸線の新造車両や路線の設備更新に700億円を超える多額の費用を要するなど引き続き厳しい経営状況へ



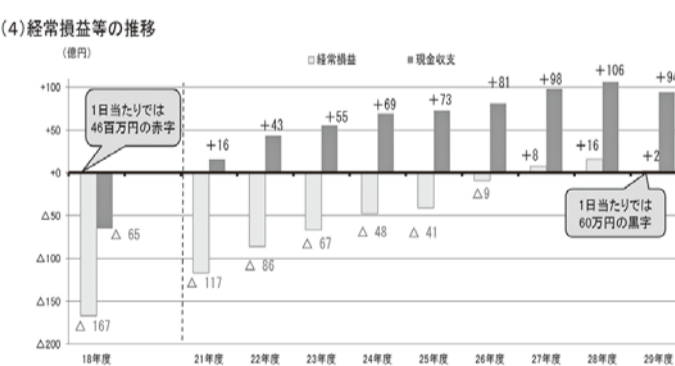
(3) お客数の状況

ア 地下鉄お客様数内訳 (単位:千人/日、%)

区分	28年度	29年度	増減	増減率
地下鉄全体	379	387	8	2.1%
うち定期	148	153	5	3.6%
うち定期外	208	211	3	1.4%

イ 地下鉄・市バスお客様数 (単位:千人/日、%)

区分	28年度	29年度	増減	増減率
地下鉄	379	387	8	2.1%
市バス	363	368	5	1.4%
合計	742	755	13	1.8%



3 財政状況 (前年度決算からの増減)

区分	28年度決算(A)	29年度決算(B)	差引増△減(B-A)
営業収入	274 07	278 67	4 60
営業外収入	249 60	253 66	4 06
営業収入	60 16	41 08	△19 08
営業外収入	26 45	7 78	△18 67
営業外収入	33 25	32 89	△36
営業外収入	334 23	319 75	△14 48
営業外収入	249 42	255 41	5 99
営業外収入	51 52	52 46	94
営業外収入	2 46	3 09	63
営業外収入	69 02	69 84	82
営業外収入	126 42	130 02	3 60
営業外収入	88 73	82 22	△6 51
営業外収入	318 15	317 63	△52
営業外収入	16 08	2 12	△13 96
営業外収入	105 88	94 06	△11 82
営業外収入	0	0	0
営業外収入	16 08	2 12	△13 96
営業外収入	△3,077 14	△3,075 02	2 12
営業外収入	256 43	304 32	77 89
営業外収入	167 21	242 19	74 98
営業外収入	8 14	5 92	△2 22
営業外収入	80 91	85 77	4 86
営業外収入	58 78	51 14	△7 64
営業外収入	0	11 90	11 90
営業外収入	371 51	435 24	63 73
営業外収入	94 79	95 88	1 09
営業外収入	251 17	329 17	78 00
営業外収入	△115 08	△100 92	14 16
営業外収入	△309 18	△309 19	△1
営業外収入	3,763 94	3,628 97	△134 97



発行所 京都交通労働組合
京都市中京区壬生坊城町48
TEL075-841-0948 FAX075-811-3536
定価 一部10円
本紙の購料は組合費に含まれています
毎月1日発行
発行者 瀬戸高志
編集者 梅田涼

- ・団体交渉報告
- ・自治労京都府本部女性部七夕交流会報告
- ・烏丸線乗務支部レクレーション活動報告
- ・駅務支部レクレーション活動報告
- ・青年女性委員会清掃イベント活動報告
- ・文化体育事業報告



自治労京都府本部女性部七夕交流会報告

二〇一八年七月二十九日(日)にホテルセントノーム京都府本部女性部主催の七夕交流会が開催されました。京交からは青年女性委員の三人が参加しました。はじめに、主催者を代表して草川女性部長(京交青年女性委員長)が挨拶に立ち、引き続き、同部長が「なぜ組合活動に関わったか」をテーマに組合と関わる前と関わってからの違いなどを講演しました。次に、府本部女性部として、初の試みのグループワークを行い、仕事の悩みなど他の単組と交流を図りながら、職種の違い、話し合いの仕方、話し合いの場、それぞれの職場環境で女性として困っていることがわかり、他の職種についても良かったです。最後に懇親会をし、各単組の紹介などを行い和気藹々とした楽しい時間を過ごしました。毎年の七夕交流会とは違い、他の単組と話し合いが多く、今の職場状況がわかりました。同じようなことで悩んでいることもあれば、職種によっての悩みもあり、話しをしてみたいと分らないことが、沢山ありグループワークの大切さ、交流の必要性がわかりました。



烏丸線乗務支部 レクレーション活動報告



…参加者全員で…

二〇一八年七月二十七日(金)河原町にあるラウンドワンでボウリング大会を開催しました。多くの組合員が参加し、五チームの対抗戦で行いました。チーム戦の形をとった事で、組や世代を超えて大いに盛り上がる事が出来ました。その後、さらなる組合員のつながりを強くするため、焼き肉屋「牛角」に移動し、懇親会を開催しました。



…ボウリングを楽しむ組合員…

駅務支部 レクレーション活動報告



～参加者全員で～



二〇一八年八月二〇日(月)組合員の親睦を深めるレクレーションとして吉本祇園花月観劇を開催しました。当日は夏休み期間中ということもあり、開演までの時間に組合員同志の親睦だけでなく家族の親睦も図ることができ、子供さんには、夏休みの良い思い出になりました。次回も組合員に喜んで頂けるレクレーションを企画致します。よろしくお願ひします。

青年女性委員会 清掃エンパワメント活動報告



二〇一八年七月二十五日(水)青年女性委員会で毎年恒例の祇園祭期間の清掃活動をしました。今年、例年以上の猛暑という事で、十七度以上の暑い中、祇園から大宮の四条通を清掃しました。各支部から二十四人(五人女性)が参加しました。後祭の次の日ということでゴミも多く、観光の方は外国人がほとんどでした。毎年、地域の方々に感謝の意味も込めてしていますが、逆に毎年の励ましの言葉やお礼を言っ

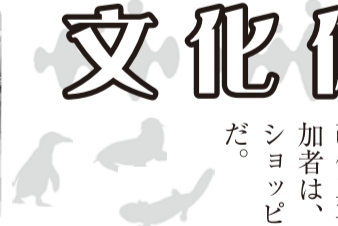


て頂いています。青年女性委員会では、今後もこの活動を続けていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。



二〇一八年七月二十五日(水)青年女性委員会で毎年恒例の祇園祭期間の清掃活動をしました。今年、例年以上の猛暑という事で、十七度以上の暑い中、祇園から大宮の四条通を清掃しました。各支部から二十四人(五人女性)が参加しました。後祭の次の日ということでゴミも多く、観光の方は外国人がほとんどでした。毎年、地域の方々に感謝の意味も込めてしていますが、逆に毎年の励ましの言葉やお礼を言っ

文化体育事業報告



文化体育事業の第一弾事業が、二〇一八年八月一日(水)と八月四日(土)の二日間に分けて開催された。文化事業として、京都水族館で京都の自然等について学ぶとともに、昨年リニューアルされた京都のランドマークタワーである京都タワーを訪れた。夏休み期間中の開催とあって、子供さんも沢山参加され総勢約四〇〇人となった。まず、京都水族館では、午前一〇時の開園から順次、京の川、オットセイ、アザラシ、ペンギン、京の海、サンゴ礁、くらげ、えび、かに、そしてイルカスタジアムでのパフォーマンスを満喫した。次いで、京都タワーは、京都中央郵便局の跡地に京都の玄関口ともいえる場所に産業・文化・観光の一大センターを確立しようとする「株式会社京都産業観光センター」が設立された。東海道新幹線の開通、オリンピック東京大会が開催された一九六四年の十二月二十五日にタワービルが全館竣工。その三日後である十二月二十八日にタワー展望室が開業。二〇一四年の開業五〇周年に向けたエレベーター改修工事や外壁の塗り直しを実施されている。参加者は、展望台に登って京都市内を見渡したり、ショッピングや飲食エリアなどでそれぞれ楽しんだ。

